

平成 30 年度事業報告

I 事業総括

当財団は、サンスターグループの社是「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」に寄与すべく、平成 30 年度の事業計画に従って、以下の事業を推進しました。

1. 人々の健康増進の実現と健康経営の実践

附属千里歯科診療所では、平成 30 年度も診療所スタッフの行動指針「クレド」に基づきのべ 29,400 人の患者様に対する医療サービスの品質向上に努めました。その結果、診療収入は約 3 億円になりました。さらに診療所では、親子や高齢者を対象としたセミナーの開催、事業会社のテーマに関する臨床データの提供を行いました。歯科健診事業では、産業歯科健診、問診結果から歯科保健指導を行う新たな歯科健診プログラムのいずれにおいても事業を拡大しました。

社員の健康管理を行う健康推進事業では、経済産業省から「健康経営優良法人～ホワイト 500～」の認定を受けるなど、サンスターグループの健康経営の取組みが評価され、企業価値の向上に貢献しました。

2. 財団のチーム力を結集し、財団の自立とサンスターグループの支援を行う

経済産業省主催のタイ・マレーシアオーラルヘルスケアセミナーを事業会社のアジア事業計画と連携しながらサポートし、さらに現地の歯科医師・歯科衛生士を診療所に招き診療所の見学とセミナーを行いました。また、昨年引き続きマレーシア日本人学校において、生徒、父兄、教員を対象に歯科保健指導を実施しました。その他、事業会社の歯科衛生士と財団歯科衛生士がプロジェクトを組み、歯科衛生士の学生向けにサンスターの認知度をより高めるための SNS の立ち上げや歯ブラシ処方箋カタログ(ハブラシコンシェルジュ)を作成しました。

3. 財団の新しい取組み

土室心身健康道場では、事業会社と連携し、一般顧客を対象にした「日帰り健康道場」をスタートしました。また、高槻市公民館から依頼を受け一般市民に向けた「心身健康道場見学会」を実施し、事業会社の食品事業の紹介を行いました。

その他、歯科分野では、事業会社のオーラルフレイルプロジェクトと連携し、フレイル予防プログラムの開発を進めています。

財務面では、上記の事業活動により経常収益で 698,640 千円(計画 753,320 千円)、経常費用 697,055 千円(計画 750,863 千円)、当期経常増減額(税引前)は 1,585 千円(計画 2,457 千円)となりました。

■財団経常収支実績 (単位：千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	753,320	698,640	▲ 54,680	694,123
経常費用	750,863	697,055	▲ 53,808	689,074
当期経常増減額(税引前)	2,457	1,585	▲ 872	5,049

II 事業報告

1. 学術講演事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ①学術講演)

高槻市民の「健康度」と「幸福度」の向上を図ることを目的に、平成30年5月19日(土)に社会医療法人 誠光会 草津総合病院 理事長 柏木 厚典先生を迎え、クロスパル高槻において第2回高槻市民いきいき健康講座「健康寿命の延伸を目指した糖尿病予防のすすめ～今日からできる食事療法～」(参加者102名)を開催し、さらに12月22日(土)に東京大学 高齢社会総合研究機構 教授 飯島 勝矢先生、新潟大学大学院 医歯学総合研究科 教授 小野 高裕先生を迎え、大阪医科大学 看護学部講堂において第3回高槻市民いきいき健康講座「健康寿命の延伸はオーラルケアから」(参加者386名)を開催しました。

以上の活動の結果、学術講演事業の事業収支は、経常費用 3,974 千円、当期経常増減額(税引前営業利益)は▲ 3,974 千円となりました。

■財団経常収支実績 (単位：千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	2,000	0	▲ 2,000	4,500
経常費用	3,536	3,974	438	6,151
当期経常増減額 (税引前)	▲ 1,536	▲ 3,974	▲ 2,438	▲ 1,651

2. 助成事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ②助成活動)

(1) 金田博夫研究助成基金

平成21年度から開始しました同研究助成では、すでに14名の受給者のハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学を助成しておりますが、平成29年度第3回理事会において、開始10年の節目を迎えるにあたって、プログラムの見直しを含めた検討が提案されました。その後、事業会社や理事のメンバーと複数回議論を重ねてまいりましたが結論に至らず、引き続き検討してまいります。

なお、留学中の4名に対する留学助成は予定通り実施しました。

* (参考) 金田博夫研究助成基金 (海外留学助成規程)

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に2年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として平成21年度に創設されました。

◆留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

◆助成内容

留学期間は最長2年間とし、渡航費及び滞在費(2年間合計/11万ドル+100万円)を支給する。

なお、過去の受給者等は、サンスター財団ホームページをご参照下さい。

(<http://www.sunstar-foundation.org/aid/historical/>)

(2) 同基金のサポートによる対外発表

佐藤真理氏*1（北海道大学大学院歯学研究院 准教授）と楠山譲二氏*2（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）の研究成果が、第60回歯科基礎医学会学術大会(福岡)にて発表されました。

- *1 Light sensitivity of brown adipose tissue（褐色脂肪組織の光感受性）
Sato M Dept. Oral Biochem. Mol. Biol, Grad Sch Dent Med, Hokkaido Univ.
- *2 Mechanism for the beneficial effects of maternal exercise on offspring glucose metabolism（母体運動による糖尿病予防効果の次世代伝搬機構）
Kusuyama J Joslin Diabetes Center, Harvard Univ. Med.

(3)公益社団法人 日本歯科衛生学会 学術賞（サンスター財団賞）に協賛しました。

本年度は、優秀賞1名、奨励賞2名が授賞しました。

- ・優秀賞 森下 志穂：通所介護事業所利用者に対する口腔機能向上および栄養改善の複合サービスの長期介入効果
- ・奨励賞 松田 悠平：口腔関連 QOL 尺度(OHRQL)の口腔癌患者への適応に関する予備的検討
戸田 花奈子：歯科医院におけるリスクアセスメントを利用したメンテナンスの効果

*（参考）日本歯科衛生士会学術賞

日本歯科衛生学会の創立を記念し平成18年に創設されました。学術賞は歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰します。本学術賞は、学術論文賞（サンスター財団賞）と学術発表賞（公益財団法人ライオン歯科衛生研究所賞）があります。

以上の活動の結果、助成事業の事業収支はサンスター株式会社から同事業に対する協賛寄付金等収入29,200千円、留学助成金などの経常費用30,857千円となり、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲1,657千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	37,000	29,200	▲ 7,800	28,200
経常費用	39,175	30,857	▲ 8,318	29,603
当期経常増減額（税引前）	▲ 2,175	▲ 1,657	518	▲ 1,403

3. 調査研究事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ③調査研究）

日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会、日本口腔インプラント学会をはじめとした、歯科専門分野の学会や講演会に、歯科医師・歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めました。また、日々の臨床で得られた知見をまとめ、学会発表や誌上発表を行い、日本臨床歯周病学会第36回年次大会では茨木歯科衛生士が特別優秀ポスター賞を受賞しました（その他活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(4)～(5)」を参照）。

以上の活動の結果、調査研究事業における事業収支は、経常収益1,260千円、経常費用5,185千

円となり、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲ 3,925 千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	-	1,260	1,260	1,000
経常費用	6,647	5,185	▲ 1,462	7,741
当期経常増減額（税引前）	▲ 6,647	▲ 3,925	2,722	▲ 6,741

4. 臨床教育事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ④臨床教育）

歯科衛生士養成機関 4 校からの実習生計 16 名に対し、のべ 125 日間の臨地教育を行いました。

以上の結果、臨床教育事業の事業収支は、歯科衛生士学校からの受講料収入 148 千円、経常費用は 9,148 千円となり、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲ 9,000 千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	120	148	28	130
経常費用	9,336	9,148	▲ 188	10,135
当期経常増減額（税引前）	▲ 9,216	▲ 9,000	216	▲ 10,005

5. 歯科健診・保健指導事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑤歯科健診保健指導）

産業歯科健診活動および歯科保健活動の件数、対象者数はそれぞれ 575 件、73,794 人となりました（活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(1)～(3)」を参照）。

(1) 産業歯科健診保健活動

本年度の歯科健診事業は、新規の 4 健保（事業主）を加えた 32 健保（事業主）に実施し、前年より約 2,000 人増え、人数は合計で 29,265 人となりました。

歯科に関する問診の回答内容から口腔内の状態や歯科保健行動を判定し、個別化された保健指導の情報提供を行う「口腔内診査を伴わない新たな歯科健診プログラム」（お口ケア 30days トライアル）を 6 健保 7,576 人に実施しました。歯科健診と歯科保健指導は合計で 114,800 千円の事業収入となりました。

(2) 8020 運動啓発などの歯科保健活動

サンスター株式会社からの業務委託により、「健康日本 21」政策に準拠した歯科保健活動を全国で 200 件、18,335 人に実施しました。主な活動としては、量販店等に来店される親子連れを対象にした活動、事業会社の得意先のイベント等での活動、企業の社員を対象とした活動、病院職員・患者対象とした活動等があり、その内容は口腔清掃指導だけでなく、口腔保健の重要性、歯周病と全身疾患との関わり、オーラルフレイル予防、糖尿病患者へのオーラルケア等多岐に渡るものでした。

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

乳幼児およびその保護者、児童、生徒それぞれの成長段階に合わせた指導を、全国 156 件、18,618

人を対象に実施しました。口腔清掃指導、フッ化物塗布、フッ化物洗口などを行いました。

サンスター株式会社から委託された事業は、歯科医師会、教育委員会および学校保健会の歯科保健事業への参画、近畿エリアの保育園および幼稚園の園児に対する紙芝居等を用いた歯科保健活動、マレーシアの日本人学校の幼稚部、児童、教員および保護者に対する歯科保健活動などです。

以上の活動の結果、歯科健診・保健指導事業における事業収支は、事業収益 184,581 千円、経常費用 158,929 千円となり、当期経常増減額（税引前利益）は 25,652 千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	197,800	184,581	▲ 13,219	174,375
経常費用	176,686	158,929	▲ 17,757	160,763
当期経常増減額（税引前）	21,114	25,652	4,538	13,612

6. 歯科診療事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑥歯科診療）

(1) 歯科診療

本年度の総受診者数は 29,400 人、そのうち新患者数は 1,152 人となり、歯科診療収入は 284,364 千円となりました。また、本年度も大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として延べ 93 人の 1 型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。

(2) 研究委託

サンスター株式会社が開発中の製品に対する臨床評価、電子カルテを活用した研究テーマに関する臨床データの提供を行いました。本年度は、京都大学との共同臨床研究に歯科衛生士が参画したり、小児発達期の長期的な臨床データの収集を開始するなど新たな取り組みも行いました。その結果、業務委託収入は昨年度の実績 9,679 千円を大きく上回り、12,000 千円の実績となりました。

(3) 商品販売

千里診療所での患者様向け窓口商品販売では、昨年度同様、商品展示スペースや待合室ディスプレイを活用した商品紹介を常時行うとともに、受付・歯科衛生士が連動し、受診者に歯ブラシ処方箋を提供するなどの取り組みを行いました。

以上の活動の結果、歯科診療事業の事業収支は、304,144 千円の事業収益に対し、経常費用 277,301 千円、当期経常増減額（税引前利益）は 26,843 千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	323,750	304,144	▲ 18,346	318,307
経常費用	289,045	277,301	▲ 11,744	286,633
当期経常増減額（税引前）	34,705	26,843	▲ 6,602	31,674

7. 商品販売（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 商品販売⑦）

官公庁（独立行政法人 国立病院機構など）等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の企画提案、斡旋を積極的に推進してまいりましたが、官公庁の保健事業の見直

しや、薬品卸流通への移行が多く、本年度の事業収支は8,625千円の事業収益となりました。仕入原価等の経常費用は4,904千円、当期経常増減額（税引前利益）は3,721千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	17,000	8,625	▲ 8,375	4,759
経常費用	10,381	4,904	▲ 5,477	4,512
当期経常増減額（税引前）	6,619	3,721	▲ 2,898	248

8. 健康推進事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑧健康推進）

サンスターループ社員の平均年齢が前年より0.3才上がり、高齢化による健康度への影響が大きくなる中、要治療者や治療中の社員の構成比は前年維持ができており、健康施策の一定の効果が得られていると認識しています。さらに本年度は要経過観察者に対して、定期健診半年後のフォロー検査の受診徹底と保健師による面談を徹底して行い、健康意識の向上を強化する活動の取組みを行いました。また、本年度より腹部エコー検査を導入するなど、がんを始めとした疾病の早期発見に努め、成果を上げてきています。

(1) 事業会社とのコラボヘルスの実施

本年度2月に前年に引き続き認証を取得した「2018年版」健康経営優良法人（ホワイト500）に沿って、持続可能な企業の「健康経営」活動および企業イメージアップに貢献しました。

(2) 健康保険組合とのコラボヘルスの実施

本年度から第2期データヘルス計画がスタートし、サンスター健康保険組合の保健事業のサポートとともに、「健康スコアリングレポート」や「データヘルス・ポータルサイト」を活用した計画の策定・実行に貢献しました。また、サンスター健康保険組合の委託を受けてサンスター財団にて土室心身健康道場の運営を引き続き進め、新入社員研修、35歳時の節目研修、特定保健指導対象者へのQOL改善研修を通して社員の健康増進に取り組みました。特にQOL改善研修の対象者を本年度より動機付け支援にも広げて研修参加者の拡大に取り組みました。

(3) 土室心身健康道場を活用したエビデンスの取得

京都大学への宿泊型健康指導プログラムの効果に関する委託研究を進め、1月に日本成人病（生活習慣病）学会、5月に産業衛生学会総会にて口頭発表、12月に論文の米国医学雑誌（Preventive Medicine Reports）への掲載が決まりました。

(4) 土室心身健康道場における宿泊型健康教育プログラムの外部展開

土室心身健康道場において、事業会社と連携し外部のお客様を対象に「日帰り健康道場プログラム研修」を5回開催しました（参加者42名）。さらに高槻市公民館等から依頼を受け地域住民への見学会を3回開催し、事業会社の食品事業の紹介等を行いました（参加者157名）。

以上の活動の結果、健康推進事業の事業収支は、サンスターループ各社及びサンスター健康保険組合からの業務委託収入155,365千円、産業医・産業精神衛生医や保健師の経常費用146,255千円、当期経常増減額（税引前利益）は9,110千円となりました。

■財団経常収支実績 (単位：千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	160,042	155,365	▲ 4,677	146,796
経常費用	154,124	146,255	▲ 7,869	123,348
当期経常増減額 (税引前)	5,918	9,110	3,192	23,448

9. 法人会計 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 法人会計)

理事会・評議員会等の開催

・平成30年度 第1回理事会

開 催 日：平成30年3月4日 (日)

開催場所：京都ホテルオークラ

決議事項：平成29年度事業報告についての承認

同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認

平成30年度定時評議員会招集についての承認

出 席：理事11名 (総数15名)、監事3名 (総数3名) 他

・平成30年度 定時評議員会

開 催 日：平成30年3月24日 (土)

開催場所：ホテルグランヴィア大阪

決議事項：平成29年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認

報告事項：平成29年度事業報告

出 席：評議員5名 (総数5名)、監事3名 (総数3名)、理事会側から理事長他

・平成30年度 第2回理事会

開 催 日：平成30年11月4日 (日)

開催場所：京都ホテルオークラ

決議事項：金田博夫研究助成基金の新しいプログラムの承認

平成31年度事業計画についての承認

出 席：理事12名 (総数15名)、監事2名 (総数3名) 他

法人会計収支は、15,317千円の寄付金等収入に対し、上記の理事会、評議員会等の会議運営、人件費等60,502千円の管理費を計上。当期経常増減額 (税引前営業利益) は▲45,185千円となりました。

■財団経常収支実績 (単位：千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
受取寄付金他	15,608	15,317	▲ 291	16,056
管理費	61,933	60,502	▲ 1,431	60,188
当期経常増減額 (税引前)	▲ 46,325	▲ 45,185	1,140	▲ 44,132

Ⅲ 寄付金収入

1. 寄付金

下記団体および個人より合計 44,600 千円 の寄付金を受け取りました。

・サンスター株式会社	28,300 千円
・STARLECS 株式会社	15,000 千円
・Sunstar Singapore Pte. Ltd.	1,000 千円
・個人	300 千円

■当財団人員数(平成 30 年 12 月 31 日現在 常勤職員及び出向社員)

	千里歯科 診療所	予防 事業部	健康 推進室	事務局	合計
歯科医師	5 人				5 人
歯科衛生士	16 人	12 人	1 人		29 人
保健師			4 人		4 人
事務職他	4 人	1 人	4 人	6 人	15 人
合計	25 人	13 人	9 人	6 人	53 人

Ⅳ 事業活動詳細報告

(1) 産業歯科健診活動

①企業・団体の事業所での歯科健診	213 事業所	29,265 人
②団体での通信講座による歯科健診・保健指導	6 件	7,576 人
	計 219 件	計 36,841 人

(2) 8020 運動啓発等の歯科保健活動

①量販店の顧客に対する個別および集団歯科保健指導	105 件	15,409 人
②地域・保健所・歯科医師会等での歯科保健指導	13 件	480 人
③企業での歯科保健指導	17 件	512 人
④得意先・イベント等での歯科保健指導	36 件	1,368 人
⑤社内行事等における歯科保健指導	19 件	218 人
⑥病院職員・患者様向け歯科保健指導	10 件	348 人
	計 200 件	計 18,335 人

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

①保育園・幼稚園・母親教室における歯科保健指導	27 園	5,148 人
②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布	128 校	12,753 人
③海外の小中学校等における歯科保健指導	1 校	717 人
	計 156 件	計 18,618 人

(4) 主な研究発表・講演

7 月	日本臨床歯周病学会第 36 回年次大会 (広島)	茨木
8 月	草津総合病院セミナー (滋賀)	岡藤
9 月	日本歯科衛生学会第 13 回学術大会 (福岡)	福池 岡藤

10月	第8回日本国際歯科大会（横浜）	鈴木
10月	第61回秋季日本歯周病学会（大阪）	鈴木
11月	クアラルンプール日本人学校（マレーシア）	岡藤 西田

(5) 主な学会・講演会参加

4月	日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会（大阪）	鈴木、福池、茨木、徳岡、田中、西田
5月	第56回日本小児歯科学会（大阪）	宮本、茨木、松崎
	第93回日本医療機器学会（横浜）	野田
6月	第61回春季日本歯周病学会（東京）	福池 吉村
	第148回日本歯科保存学会（横浜）	三宅
	第127回日本補綴歯科学会（岡山）	鈴木
	第28回日本老年歯科医学会（東京）	土井 福池 田中 今藤
7月	日本臨床歯周病学会第36回年次大会（広島）	鈴木
	第5回日本糖尿病療養指導学術集会（京都）	福池 野田
9月	日本糖尿病協会カードシステム講習会（大阪）	福池
	第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会（仙台）	土井 福池
	第48回日本口腔インプラント学会（大阪）	鈴木 徳岡
	第13回日本歯科衛生学会（福岡）	福池、野田、茨木、岡藤
10月	第8回日本国際歯科大会（横浜）	鈴木、三宅、福池、茨木、金子、徳岡
	第61回秋季日本歯周病学会（大阪）	鈴木、福池、野田、茨木
	糖尿病療養指導士更新研修（大阪）	福池、野田、茨木
	日本糖尿病学会第55回近畿地方会（神戸）	福池、野田
11月	第149回日本歯科保存学会（京都）	三宅
	日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会（大阪）	鈴木、福池、野田、茨木、徳岡、田中、西田

以上